添付資料4

免震事務棟に関する工事の進捗状況（1／2）

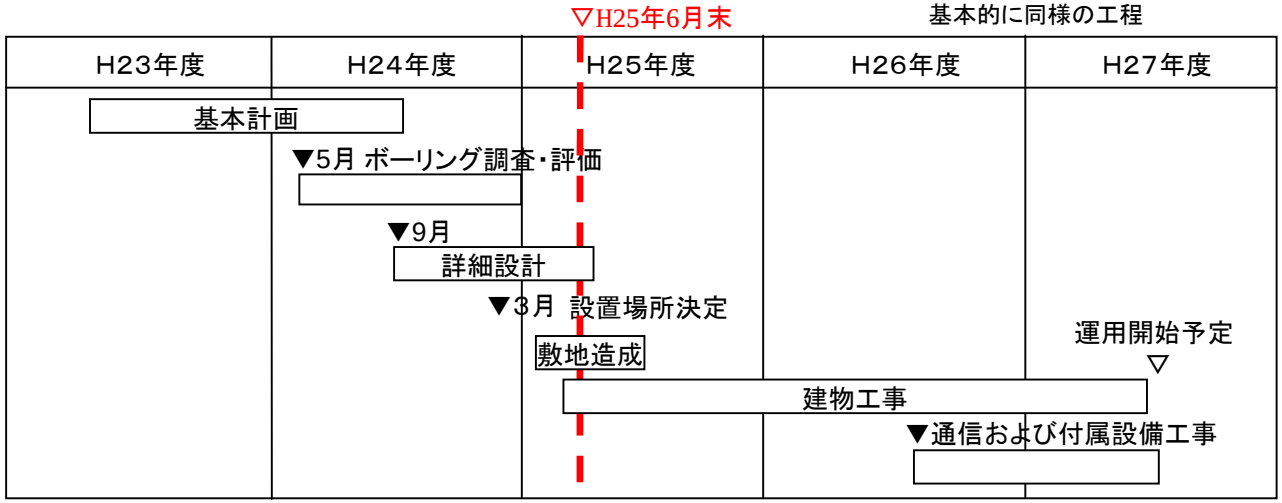
○重大事故が発生した際に、現場対応体制を確保するとともに、作業員の安全性を確保することを目的として、免震事務棟の設置を進めています。
○免震事務棟の設置工事としては、主に、敷地造成、建物の本体工事、通信および付属設備工事を実施します。
○現在、各発電所において建物の本体工事に係る山留作業（地下構造物の施工中に周囲地盤の崩落を防止するために掘削の側面を保護する作業）、および敷地造成の作業を実施しています。（高浜発電所は、設置する敷地に既にスペースがあるため、敷地造成は不要）

免震事務棟の仕様

○必要人員の収容スペース、必要な電源の確保、放射性物質の流入防止（換気空調系機器の機能確保）、カメラ等による建屋等の周辺状況の監視機能および通信機能を確保
・地上9階＋地下1階（鉄骨鉄筋コンクリート構造）　・免震構造
・建屋内面積　約6,000㎡　　・収容想定人数　最大約1,000人
・微粒子・よう素除去フィルタ付換気空調設備
・光通信、マイクロ波無線、衛星通信を設置し、通信機能を確保
・非常用発電機（1,000kVA）を設置（3台）
・プラントパラメータ伝送システムを設置

設置スケジュール（大飯発電所）

※美浜発電所、高浜発電所についても、基本的に同様の工程



イメージ図

○外観（大飯発電所）

○対策本部

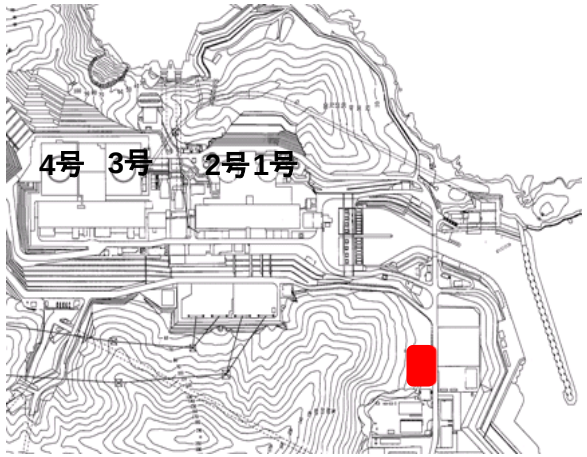
（約400m^2）

添付資料4

免震事務棟に関する工事の進捗状況（2／2）

大飯発電所

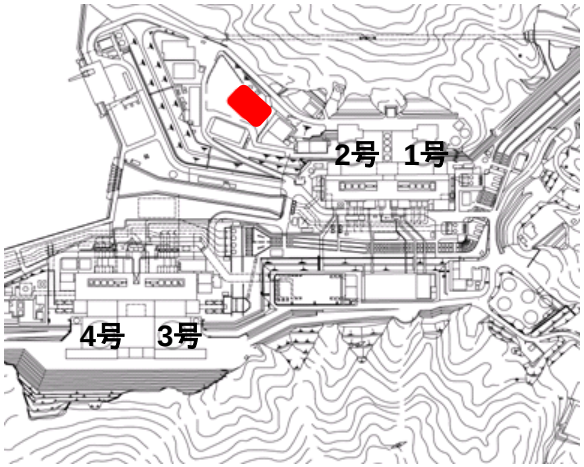
○建設予定地：
広場（グランド）の向かい空き地
（EL＋15.0m）



○作業状況

高浜発電所

○建設予定地：
北門横協力会社駐車場（EL＋17.0m）



○作業状況

美浜発電所

○建設予定地：
3号機取水口横（EL＋6.0m）

○作業状況